

## 枚方市ペット霊園の設置の許可等に関する規制の概要（案）

### 1. 規制の趣旨

ペット霊園については、飼い主側のニーズが見込まれる一方、ペット霊園を規制する法的枠組みは存在せず、本市においては、ペット霊園の廃止に関して利用者等との間でトラブルとなる事案が発生しました。また、全国的には、ペット霊園の設置や火葬施設からの悪臭などにより、事業者と近隣住民との間で問題となるケースが起り、それに対応するため、ペット霊園設置に関する条例や要綱を制定する自治体が存在しています。

本市においても、ペット霊園の設置や管理等の基準を設け、地域の良い生活環境の保全及びペット霊園利用者の保護を図ることを目的とします。

### 2. 規制の概要

#### （1）総則

##### ①目的

この規制は、ペット霊園の設置及び管理並びに移動火葬車による火葬が公衆衛生その他公共の福祉の見地から支障なく行われるための必要な事項を定めることにより、地域の良好な生活環境の保全及び利用者の保護に資することを目的とします。

##### ②定義

名称	定義
ペット	愛玩することを目的として人に飼養される犬、猫その他の動物。
墳墓	ペットの焼骨を埋蔵する施設。
墓地	墳墓を設置するための区域。
納骨堂	ペットの焼骨を収蔵する構造物。
火葬	ペットの死体（廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）第 2 条第 1 項に規定する廃棄物に該当する物を除く。以下同じ。）を葬るために、これを焼くこと。
火葬施設	火葬を行うための設備を有する施設（移動火葬車を除く。）。
ペット霊園	火葬施設、墓地若しくは納骨堂（ペットの焼骨を収蔵する構造物）又はこれらを併せ有するもの。ただし、専ら自己の利用に供する目的で設置するものを除く。
移動火葬車	火葬を行うための設備を有する自動車（道路交通法（昭和 35 年法律第 105 号）第 2 条第 1 項第 9 号に規定する自動車をいう）。

##### ③設置者等の責務

ペット霊園を設置し、又は管理する者は、当該ペット霊園の設置又は管理にあたり、地域の良好な生活環境の保全のために必要な措置を講じるとともに、ペット霊園の利用者の心情に十分配慮しなければならないとします。また、移動火葬車を使用して火葬を業として行う者が、当該火葬を行う場合にも、同様の責務を規定します。

## (2) ペット霊園の設置の許可等の規制

### ①埋葬の禁止

ペット霊園においては、ペットの死体を土中に葬ってはならないこととします。

### ②申請に関する手続

ペット霊園を設置又は変更をしようとする者は、以下の手続を行わなければならないものとします。

事項	説明
事前協議	・計画内容について事前に市長と協議を行う。(3か月前)
標識の設置	・当該許可に係るペット霊園の概要を記載した標識を設置する。(2か月前)
説明会の開催	・計画地周辺の建物の使用者、管理者等に対し説明会を開催する。(1か月前) ・隣接する土地の所有者又は使用者と協議を行う。(1か月前)
申請書の提出	・ペット霊園の内容について申請を行う。
工事完了の検査	・工事が完了後に速やかに市長に届出を行い、検査を受ける。

### ③許可の基準

ペット霊園を設置しようとする者、ペット霊園の墓地を拡大若しくは変更、又は火葬施設を増設若しくは変更しようとする者はあらかじめ市長の許可を受けなければならないものとし、許可にあたっては、以下の基準を設けます。

事項	説明
設置場所の基準	・火葬施設及び墓地が、住宅から100メートル離れていること。 ・ペット霊園の土地は、申請者自らが所有し、かつ、当該土地に所有権以外の権利が設定されていないものであること。
構造設備の基準	・区域の境界から火葬施設、墓地等が見えないように垣根、障壁等を設けること。 ・墓地に雨水、その他の地表水が停滞しないようにするための排水施設が設けられていること。 ・管理事務所並びにペット霊園の規模に応じた便所、給水設備及びごみ集積設備が設けられていること。 ・火葬施設は摂氏800℃以上の状態で焼却でき、温度を保つための助燃装置の設置や、防音、防臭及び防じんについても、十分な能力を有する施設であること。

### ④維持管理

ペット霊園の設置者は、規制に定める許可の基準に従い、ペット霊園を維持管理しなければならないこととします。

### ⑤承継及び軽微な変更に関する手続き

設置者の地位を承継したとき、又は軽微な変更をしたときは、その旨を承継した日又は変更した日から30日以内に市長に届け出なければならないこととします。

### (3) 移動火葬車の規制

市内で移動火葬車を使用して火葬を業として行おうとするもの（以下、「移動火葬業者」という。）は、事前に市長に届け出なければならないこととし、使用場所等について制限します。

事項	説明
火葬基準	・ ペット霊園の火葬施設の基準に適合するものであること。
火葬場所の制限	・ 土地所有者が火葬を行うことに同意していること。
周辺への配慮	・ 付近の住民に対し、火葬を行うことを事前に周知すること。 ・ 従事者が火葬終了までその場に待機し、火葬設備を適正に管理すること。
廃止の届出	・ 廃止後 30 日以内にその旨を市長に届け出ること。

### (4) 利用者の保護

#### ① ペット霊園の設置者及び移動火葬業者の遵守事項

ペット霊園の設置者及び移動火葬業者は、利用者の心情に十分配慮するよう次に掲げる事項を設けます。

事項	説明
ペットの死体等の取扱	・ ペットの死体及び遺骨を丁寧に扱うとともに、衛生的に管理する。
サービスの説明	・ 利用者に対して、あらかじめ、利用の条件、手続及び料金、ペットの死体及び遺骨の取扱いの方法その他の役務の提供に関する事項について説明する。
書類管理※	・ 利用者ごとに書類を作成し、利用者がペット霊園の利用を終えるまでの間保管する。

※ペット霊園の設置者に限る事項

#### ② 廃止の手続

ペット霊園を廃止しようとするものに、以下の手続を設けます。

事項	説明
事前の届出	・ 廃止する旨を 30 日前までに市長に届け出る。
利用者への対応	・ 利用者に廃止する旨の説明を行う。 ・ 焼骨を移す等の利用者の心情に配慮した対応をとる。

### (5) 雑則

- ① 必要な限度において、報告や資料の提出を求めることができ、立入調査を行える規定を設けます。
- ② 改善勧告及び改善命令、許可の取消し、使用の禁止命令を行える規定を設けます。
- ③ 改善命令や禁止命令などに従わない者について公表できる規定を設けます。
- ④ 墓地、埋葬等に関する法律第 10 条の規程により許可を受けて設置された人用の墓地の区域内に、人の墓地と併せて墓地を設置するときは適用しない規定を設けます。
- ⑤ 条例の施行に関し必要な事項については、規則で定めることとします。

## ペット霊園に関する規制の手続きフロー図

